

会報

茨城

iBARAKI

65
2017 JUL

The Bulletin of Ibaraki
Association of
Architectural Firms

<http://www.i-jk.org>

首長インタビュー
[ひたちなか市長にきく]

未来へつなぐ
元気あふれるまち
茨城建築文化賞

第30回

併催行事として 記念講演が行われました。



「キーワードで考える庁舎建築」と題した記念講演では、株式会社久米設計 林年男氏(左)、上田克行氏(右)を講師に迎え、現在手掛けられている茨城県内の庁舎を事例に講演をしていただき多くの参加者が講演に聞き入った

記念講演が行われました。現在手掛けられている茨城県内の庁舎を事例に講演をしていただき、多くの参加者が講演に聞き入っていました。

記念講演が行われました。現在手掛けられている茨城県内の庁舎を事例に講演をしていただき、多くの参加者が講演に聞き入っていました。

記念講演終了後、同文化センター(グリル)にて懇親会が行われました。参議院議員 岡田広氏、茨城県議会議員 西野一氏にもご臨席を賜りご祝辞をいただきました。正会員ならびに賛助会員の方々に多数参

会が終了しました。

続いて併催行事として、株式会社久米設計 林年男氏、上田克行氏を講師に迎え、「キーワードで考える庁舎建築」と題した

記念講演が行われました。現在手掛けられている茨城県内の庁舎を事例に講演をしていただき、多くの参加者が講演に聞き入っていました。

記念講演終了後、同文化センター(グリル)にて懇親会が行われました。参議院議員 岡田広氏、茨城県議会議員 西野一氏にもご臨席を賜りご祝辞をいただきました。正会員ならびに賛助会員の方々に多数参

会が終了しました。

により横須賀会長が議長となり、第1号議案「平成28年度事業報告並びに収支決算承認の件」、第2号議案「平成29年度事業計画並びに収支予算承認の件」が審議の上、原案通り可決されました。全ての審議が終了し、河野副会長の閉会の辞により無事総会が終了しました。

続いて、議事に入り、定款第22条の規定により横須賀会長が議長となり、第1号議案「平成28年度事業報告並びに収支決算承認の件」、第2号議案「平成29年度事業計画並びに収支予算承認の件」が審議の上、原案通り可決されました。全ての審議が終了し、河野副会長の閉会の辞により無事総会が終了しました。

この後、「第30回茨城建築文化賞」の表彰式が行われ、最優秀賞である茨城県知事賞に輝いた株式会社増山栄建築設計事務所「土浦市立都和小学校」をはじめ、県議会議員長賞の有限会社増山栄建築設計事務所「古河市立古河第一小学校」、県土木部長賞の有限会社吉田建築計画事務所「野草舍森の家」、茨城新聞社賞の横須賀河野建築関連業務共同企業体「下館第二高校」、そのほか入選5点、住宅部門最優秀賞1点、住宅部門優秀賞2点、リフォーム賞2点に対し賞状と記念品が授与されました。

続いて、議事に入り、定款第22条の規定により横須賀会長が議長となり、第1号議案「平成28年度事業報告並びに収支決算承認の件」、第2号議案「平成29年度事業計画並びに収支予算承認の件」が審議の上、原案通り可決されました。全ての審議が終了し、河野副会長の閉会の辞により無事総会が終了しました。



会員増強表彰を受ける宮本久氏



永年会員表彰を受ける川崎升夫氏



茨城県知事賞を授与された
株式会社増山栄建築設計事務所



茨城新聞社賞を授与された
横須賀・河野建築関連業務共同企業体



県土木部長賞を授与された
有限会社吉田建築計画事務所



県議会議長賞を授与された
有限会社長塚建築設計事務所



河野副会長の閉会の辞



茨城建築文化賞の講評を述べられる審査委員長の小場瀬氏



住宅部門最優秀賞を授与された岩瀬卓也建築設計事務所

始めに、横須賀会長が主催者を代表して、行政機関や関連諸団体、及び会員各位の頃からのご支援やご協力に対し感謝の意を述べられました。来賓紹介の後、表彰式が行われ、会員増強表彰で1社、永年会員表彰では正会員15社に横須賀会長から感謝状と共に記念品が贈呈されました。

平成28年度 通常総会 会員増強表彰者一覧

(有)宮本建築アトリエ 宮本 久

平成28年度 通常総会 永年会員表彰社一覧

【正会員】	川又建築設計事務所 中山設計工房 一級建築士事務所時代建築設計室 (株)ハウジング神田 (株)渡辺設計 (株)茨城木材相互市場 住設計工房 G建築設計事務所	(株)大誠工務店 野村設計事務所 (株)オック構造設計 (有)丸和工務店一級建築設計事務所 茨城東部プレカット協同組合 (株)川上綜合設計 坪和建築設計事務所
-------	---	---

平成28・29年度 名誉会員・相談役・役員一覧

名誉会長	柴 和伸	(株)柴建築設計事務所	理 事	坪 和 昭男	坪和建築設計事務所
相談役	羽石 英夫	(株)羽石英夫建築設計事務所		丸山 好史	(有)丸山建築デザイン研究所
	山田 博通	(株)桜設計事務所		宮本 久	(有)宮本建築アトリエ
	岡野 芳徳	(株)岡野建築設計事務所		軽部 守彦	軽部建築設計事務所
会長	横須賀 満夫	(株)横須賀満夫建築設計事務所		市毛 純一	(株)市毛建築設計事務所
副会長	舟幡 健	(株)バル綜合設計		塙 秀之	(有)コウシュウ設計
	田中 健一	(株)中建築設計事務所		富田 清一	セイショウ建築事務所
	河野 正博	(株)河野正博建築設計事務所		大内 賢一	(株)第一設計
専務理事	岡部 安寿	(一社)茨城県建築士事務所協会		清水 義幸	(株)清水構造設計
常務理事	小室 克己	(株)K建築設計事務所		一本杉 洋	(株)一本杉建築設計事務所
	渡辺 章夫	(有)ムープ建築設計事務所		沼田 弘次	M'sBOX建築設計事務所
	小室 晶	(有)汎連合設計		小葉 拓巳	小葉建設設計事務所
	早川 富二雄	(株)早川建築事務所		斎藤 章	(株)エス・ディ・フレックス
	根本 洋一朗	(株)根本建築設計事務所		高槻 一雄	(有)高槻建築設計事務所
	青山 立美	(株)青山建築設計事務所		鎌田 富士夫	鎌田建築アトリエ
	増山 栄	(株)増山栄建築設計事務所		若柳 綾子	(株)若柳建築事務所
理事	和田 邦裕	和田建築設計事務所	監 事	金沢 悅男	金沢建築設計事務所
	小川 憲一	(株)戸頃建築設計事務所		清水 忠	(有)清水忠建築設計事務所
	久野 正行	久野建築設計室		水口 二良	水口・野村法律事務所
	小沼 隆志	(株)玄設計一級建築士事務所			
	相澤 晴夫	(株)相澤建築設計事務所			

平成29年度 事業計画

本協会設立の趣旨に基づき、建築士事務所の社会的使命と責任を自覚して、1級・2級・木造建築士事務所、また専業・兼業建築士事務所の別なく、広く県内建築士事務所の経営改善と建築技術の向上をはかるとともに、互いに交流を積極的に行い、その団結を深めることにより、本建築設計・工事監理業務の発展に寄与し、ひいては建築文化の向上と地域社会の発展を図るため次のとおり事業を行う。

1. 県民の居住水準の向上と建築関連業界の活性化を図るため、各種事業の情報を提供する。

- (1)住まいの無料相談会 毎月第1・3土曜日、各自治体の相談会
- (2)耐震診断・耐震改修相談窓口 随時
- (3)マンションの基礎工事に関する相談会 随時

2. 行政情報の適正かつ効率的な伝達に寄与するため、各種の情報を提供する。

- (1)建築行政会議の開催
- (2)特殊建築物等定期報告の促進指導
- (3)完了検査の推進

3. 優れた建築物や、まちなみの完成に貢献した建築設計事務所を表彰する。

第31回茨城建築文化賞表彰事業

4. 県内の建築系学科を有する学校の生徒が考案した、優れた建築物や都市計画等を表彰する。

第4回茨城学生建築展

5. 建築士事務所の業務及び建築技術の進歩向上に資するため、広く県内建築士事務所その他建築関係者を対象に研修会・講習会を開催する。

- (1)建築士事務所の管理講習会・開設者研修会 2回
- (2)管理建築士資格講習 1回
- (3)建築士定期講習 2回
- (4)明日を創る建築講座 1回
- (5)スキルアップセミナー 1回
- (6)景観整備に関わるセミナー 1回
- (7)その他 講習会 隨時

6. 広く県内建築士事務所の業務の改善・向上に資するための事業を推進する。

- (1)茨城県よりの委託事業
・平成29年度建築行政指導委託業務
建築基準法及び建築士法などの建築関係法令の改正等に係る情報の周知及び設計等の業務に関する報告書の提出及び定期講習受講の案内を、茨城県内の建築士事務所に配布

・平成29年度住宅耐震・リフォームアドバイザー養成事業業務委託

「住宅耐震・リフォームアドバイザー」を養成するための講習会の開催

(2)国土交通省告示第15号 建築設計・工事監理業務報酬基準の普及の要望

(3)建築設計・工事監理業務報酬基準の調査

(4)公共団体からの設計委託業務に関する実態調査等

(5)茨城標準単価表の作成

(6)建築士事務所登録更新該当者への通知 (7)賛助会員業務との関わりを考える集い実施 (8)新規事業開発のための調査研究 (9)リフォームアドバイザー派遣事業の実施 (10)業務書式、図書等の販売

7. 建築士事務所の業務の円滑化及び建築技術の向上に役立つ各種情報や資料を収集し、提供する。

(1)業務報酬算定基準の作成・公開

8. 広く県内に本協会活動をPRするとともに会員相互の情報交換を行う。

- (1)会報茨城の発行
- (2)県民ユーザーへの新聞広報等
- (3)建築士事務所キャンペーン
- (4)ホームページの作成・更新

9. 会員相互の親睦及び福利厚生のための事業を行う。

- (1)懇親会の開催
 - ・総会懇親会
 - ・賛助会員との懇親会(合同納涼会)
 - ・年末懇親会

- (2)親睦ゴルフ大会の開催
- (3)同好会の支援(ゴルフ)
- (4)建築視察研修の開催
- (5)福利厚生事業の普及・促進

10. 会員の増強を図るための運動を行う。

11. 指定事務所登録機関の業務を行う。

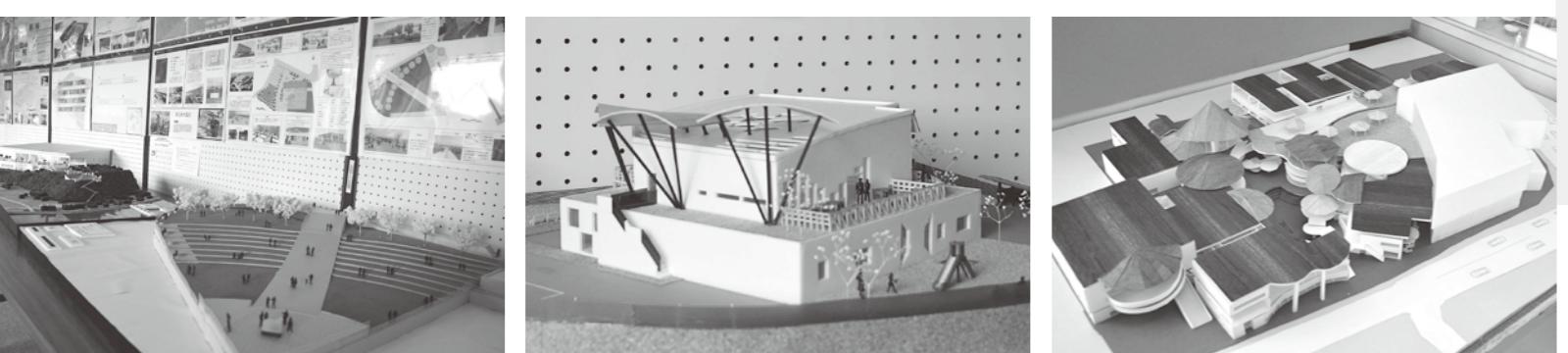
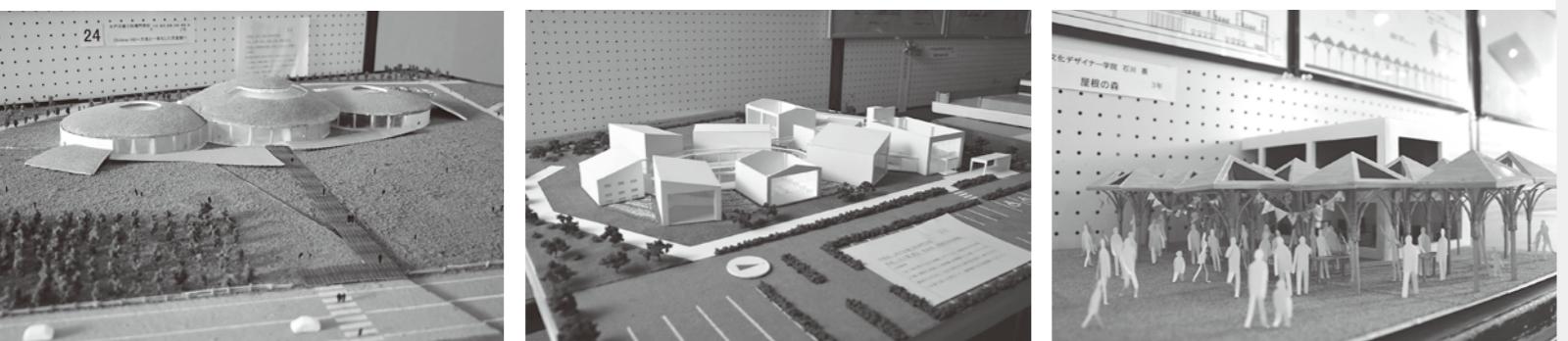
12. その他県内建築士事務所の建築設計・工事監理業務の発展に寄与するための事業を行う。



第3回「茨城学生建築展」が開催されました

「第3回茨城学生建築展」が平成29年2月23日から26日の4日間、笠間市の「笠間の家」を会場に開催され、展示と作品表彰が行われました。

【協賛企業各社】株式会社山忠・株式会社フジクリーン茨城・YKKAP株式会社・総合資格学院・センター電機株式会社・株式会社奈良屋
株式会社日立ビルシステム・株式会社LIXIL・和知商事株式会社・北海道パーケット工業株式会社・日建学院 水戸校 つくば校



施工様向け「住宅ローン金利優遇」のお知らせ

このたび常陽銀行および筑波銀行のご協力により、
施工様にとっても当協会正会員にとっても大きなメリットとなる制度です。
ぜひ積極的にご活用ください! *住宅ローン金利優遇は期間限定です。

常陽銀行

1

茨城県建築士事務所協会の正会員が個人住宅を設計または施工監理する際、施工様が「常陽銀行」の住宅ローンを利用すると、店頭金利よりマイナス1.5~1.85%になります。

*ただし、平成30年3月31日までに申し込み、平成30年5月31日までに借入れた方に限ります。

下記条件をすべて満たす場合、割引が適用されます。

- ①施工様が常陽銀行で給与振込（常陽銀行規定による）を利用中。②常陽銀行指定のカードローンを契約中（または新規に申込む）。
- ③常陽銀行指定のクレジットカードを契約中（または新規に申込む）。④常陽ダイレクトキャッシングアクセスを契約中（または新規に申込む）。
- ⑤茨城県建築士事務所協会の正会員が建築設計または工事監理する住宅。

筑波銀行

2

茨城県建築士事務所協会の正会員が個人住宅を設計または施工監理する際、施工様が「筑波銀行」の住宅ローンを利用すると、店頭金利よりマイナス1.0~2.1%になります。

*ただし、平成30年3月30日までに申し込み、平成30年5月31日までに借入れた方に限ります。

下記条件をすべて満たす場合、割引が適用されます。

- ①施工様が筑波銀行で給与振込（筑波銀行規定による）を利用中。②筑波銀行指定のカードローンを契約中（または新規に申込む）。
- ③筑波銀行指定のクレジットカードを契約中（または新規に申込む）。④インターネットキャッシングを契約中（または新規に申込む）。
- ⑤茨城県建築士事務所協会の正会員が建築設計または工事監理する住宅。

詳細は事務局までお問い合わせください。当協会ホームページでも資料をご覧いただけます。

皆様のご利用をお待ちしています!

一般社団法人
茨城県建築士事務所協会事務局

TEL.029-305-7771 FAX. 029-305-7791
E-mail. ikyokai@i-jk.org ホームページ <http://www.i-jk.org>

多くの力作が寄せられ 昨年を上回る来場者数でした

「第3回茨城学生建築展」が平成29年2月23日から26日の4日間、笠間市の「笠間の家」を会場に開催されました。開催時期については今年も各学校の意向を調査し、高校生の卒業式に間に合うように2月に開催することを決定し準備を進めました。

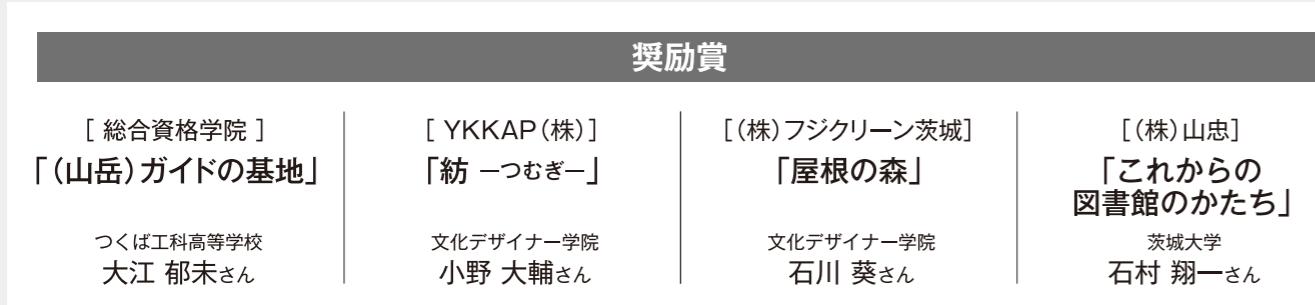
笠間市の全面協力のもと、茨城県内の建築関連の学科を専攻する大学・専門学校・高校の生徒を対象として作品を募集したところ、去年とほぼ同数の9校から39作品が集まりました。

審査委員には、笠間市長、事務所協会会長、建築士会会長、JIA茨城地域会会長、茨城県建築センター理事長の5名にお願いをし、作品を見た後、審査会において各賞を選出していただきました。

全4日間の展示期間と表彰式で学生や父兄、協会会員や地域の方々など、来場者は昨年を超えて150名を数えました。また、今年も協会賛助会の多くの企業から協賛をいただき、充実した内容の事業が行えたことに大変感謝しています。今年から、審査を初日に行い、受賞者に通知をして表彰式に参加してもらうように、スケジュールを変更しました。また表彰式の会場を「笠間の家」から「笠間工芸の丘クラフトホール」に変更し、展示と表彰の会場を分けました。

第1回、第2回の学生展の反省を

もとに、審査日程の変更や、表彰式会場の変更を行い、より良い学生展になっていました。これからも多くの学校の参加と、多くの優秀な作品が集まるよう、今後とも努力し、次回の開催も成功に繋げていきたいと思います。



県内の建築系学科で学ぶ学生の皆さんから多数の作品が集まりました。



講評を述べる横須賀満夫会長(上)と久須美忍笠間市副市長(下)



茨城県建築士会賞を受賞された福山さんと柴和伸会長



作品を興味深げに見る人々

大規模建築物の省エネ基準適合義務化が平成29年4月スタート!!

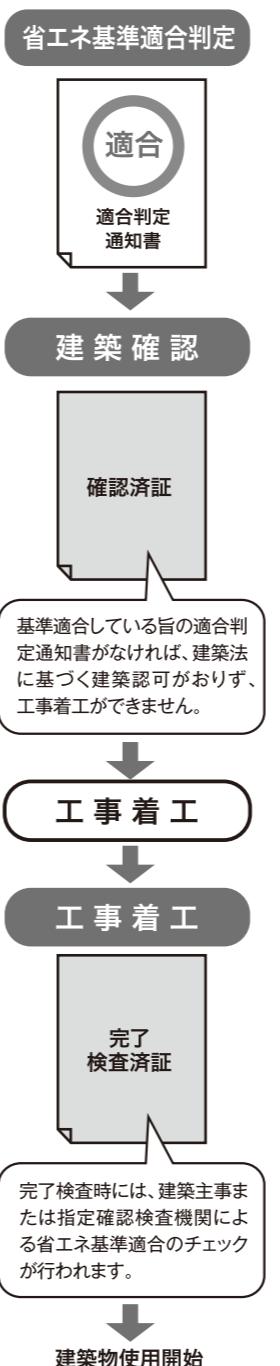
省エネ基準適合義務の対象となる建築物(2,000m²以上の非住宅建築物)については、省エネ基準に適合しなければ建築基準法の確認済証の交付をうけることができなくなりました。

建築物省エネ法の規制措置の概要

法律制定の背景・必要性

わが国はエネルギー源の中心となつてゐる化石燃料に乏しく、その概ねを海外からの輸入に頼る根本的脆弱性を抱えており、国民生活と産業活動の血脉となるエネルギーの安定的確保は常に大きな課題であります。

一般に民生部門(業務・家庭部門)として分類される建築物で消費されるエネルギー量は、わが国の最終エネルギー消費の約3分の1を占め、他分野に比べ過去からの増加が顕著であることから、当該分野における省エネルギー化を図ることが、省エネルギー社会の確立、ひいては安定的なエネルギー需給構造を構築していく上で喫緊の課題となっています。



法律の概要

本法律においては、建築物の規模等に応じた規制的措置に加え、建築主等の自発的な省エネ性能の向上を促す誘導措置を一体的に講ずることで、わが国における建築物全体のエネルギー消費性能を向上させていくこととしています。(図1)

誘導措置については、すでに2016年4月1日より施行しています。また、規制的措置については、2017年4月1日より施行されました。

図1 建築物省エネ法の概要

規制措置	特定期間	適用範囲
届出	一定規模以上の新築、増改築に係る計画の所管行政への届出義務	(省エネ基準に適合しない場合)必要に応じて所管行政が指示・命令
住宅トップランナー制度	住宅事業建築主が新築する一戸建て住宅	住宅事業建築主に対して、その供給する建売戸建住宅に関する省エネ性能の基準(住宅トップランナー基準)を定め、省エネ性能の向上を指導
省エネ性能向上計画の認定、容積率特例	新築または改修の計画が、誘導基準に適合すること等について所管行政の認定を受けると、その旨の表示をすることができる。	*省エネ性能向上のための設備について通常の建築物の床面積を超える部分を不算入

図2 省エネ法と建築物省エネ法の比較概要(新築に係る措置)

省エネ法		建築物省エネ法	
エネルギーの使用の合理化等に関する法律		建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律	
第一種特定建築物		特定建築物	
届出義務 著しく十分な場合、指示・命令等		適合義務 建築確認手続きに連動	
届出義務 著しく不十分な場合、指示・命令等		届出義務 基準に適合せず、必要と認める場合、指示・命令等	
第二種特定建築物		届出義務 基準に適合せず、必要と認める場合、指示・命令等	
届出義務 著しく不十分な場合、勧告		努力義務	
努力義務		努力義務	
努力義務 必要と認める場合、勧告・命令等		努力義務 必要と認める場合、勧告・命令等	

図2 省エネ法と建築物省エネ法の比較概要(新築に係る措置)

省エネ法	建築物省エネ法
エネルギーの使用の合理化等に関する法律	建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律
第一種特定建築物	特定建築物
届出義務 著しく十分な場合、指示・命令等	適合義務 建築確認手続きに連動
届出義務 著しく不十分な場合、指示・命令等	届出義務 基準に適合せず、必要と認める場合、指示・命令等
第二種特定建築物	届出義務 基準に適合せず、必要と認める場合、指示・命令等
届出義務 著しく不十分な場合、勧告	努力義務
努力義務	努力義務
努力義務 必要と認める場合、勧告・命令等	努力義務 必要と認める場合、勧告・命令等

※省エネ法に基づく修繕・模様替え、設備の設置・改修の届出、定期報告制度については、平成29年3月31日をもって廃止。

省エネ基準適合化の判定制度と届出

基準適合義務・適合性判定制度

規制的措置のうち、基準適合義務や届出制度の概要は次の通りです。

なお、届出制度住宅トップランナー制度について省エネ法(エネルギーの使用の合理化等に関する法律)から本使用の合理化等に関する法律)から本法律に移行します。

床面積(高い開放性を有する部分の床面積を除く)が2000m²以上の非住宅建築物(特定建築物)は、単体でのエネルギー消費量が大きいことなどから、新築時等の建築物エネルギー消費性能基準(省エネ基準)への適合義務を課し、省エネ基準への適合を担保するため、所管行政または登録建築物エネルギー消費性能判定機関による適合性判定制度を創設し、基準に適合しなければ建築確認が下りない(着工禁止)とします。なお、住宅と非住宅の複合建築物については、非住宅部分のみ適合義務が課され、適合性判定が必要です。

具体的に対象となる建築行為は、①特定建築物の新築、②増改築のうち、増改築後に特定建築物となり、かつ「増改築部分の床面積」に対する「増改築部分の床面積」の割合が2分の1超となるもの

床面積(高い開放性を有する部分の床面積を除く)が2000m²以上の非住宅建築物(特定建築物)は、単体でのエネルギー消費量が大きいことなどから、新築時等の建築物エネルギー消費性能基準(省エネ基準)への適合義務を課し、省エネ基準への適合を担保するため、所管行政または登録建築物エネルギー消費性能判定機関による適合性判定制度を創設し、基準に適合しなければ建築確認が下りない(着工禁止)とします。なお、住宅と非住宅の複合建築物については、非住宅部分のみ適合義務が課され、適合性判定が必要です。

具体的に対象となる建築行為は、①特定建築物の新築、②増改築のうち、増改築後に特定建築物となり、かつ「増改築部分の床面積」に対する「増改築部分の床面積」の割合が2分の1超となるもの

床面積(高い開放性を有する部分の床面積を除く)が2000m²以上の非住宅建築物(特定建築物)は、単体でのエネルギー消費量が大きいことなどから、新築時等の建築物エネルギー消費性能基準(省エネ基準)への適合義務を課し、省エネ基準への適合を担保するため、所管行政または登録建築物エネルギー消費性能判定機関による適合性判定制度を創設し、基準に適合しなければ建築確認が下りない(着工禁止)とします。なお、住宅と非住宅の複合建築物については、非住宅部分のみ適合義務が課され、適合性判定が必要です。

具体的に対象となる建築行為は、①特定建築物の新築、②増改築のうち、増改築後に特定建築物となり、かつ「増改築部分の床面積」に対する「増改築部分の床面積」の割合が2分の1超となるもの

床面積(高い開放性を有する部分の床面積を除く)が2000m²以上の非住宅建築物(特定建築物)は、単体でのエネルギー消費量が大きいことなどから、新築時等の建築物エネルギー消費性能基準(省エネ基準)への適合義務を課し、省エネ基準への適合を担保するため、所管行政または登録建築物エネルギー消費性能判定機関による適合性判定制度を創設し、基準に適合しなければ建築確認が下りない(着工禁止)とします。なお、住宅と非住宅の複合建築物については、非住宅部分のみ適合義務が課され、適合性判定が必要です。

具体的に対象となる建築行為は、①特定建築物の新築、②増改築のうち、増改築後に特定建築物となり、かつ「増改築部分の床面積」に対する「増改築部分の床面積」の割合が2分の1超となるもの



【特集】首長インタビュー
ひたちなか市長に聞く

元未 氣來へつなぐ あふれるまち

はじめに

茨城県建築士事務所協会の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃より市政運営及び公共事業の推進につきまして、格別なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本市は、平成6年に勝田市と那珂湊市が合併して誕生したまちで、旧勝田市は、製造業を中心とした工業都市として発展し、戦中・戦後を通じて「ものづくり」の技術が脈々と受け継がれてきました。旧那珂湊市は、水運、漁業で古くから栄えた地域で、現在でも水産加工が盛んであり、特にタコの加工量は日本一です。また、本市では「ほしいも」の生産量も日本一を誇るなど、多様な産業がバランスよく発達しています。

本市が合併する契機の一つとなつたのは、東海村との間にまたがる広大な「ひたちなか地区」の開発事業です。118.2 haにわたるこの地区は、戦後米軍に接收され、空軍の水戸対地射爆撃場として利用されていましたが、県民を挙げての返還運動により昭和48年に日本政府に返還されました。この広大な返還財産の土地利用においては、物流や産業集積の拠点として北関東における中核的な役割が期待されており、国・県・市・村の連携の下、重要港湾である茨城港常陸那珂港区や国営ひたち海浜公園、常陸那珂工業団地などの整備が着々と進められてきました。

1 大きな可能性を有する
「ひたちなか地区開発」とともに



本間 源基
ひたちなか市長

「合格率」と「合格者占有率」は違います。
No.1であっても、
日建学院がこだわるのは「合格率」です!

※合格率…受講生のうち、どれくらい合格されたのか? ※合格者占有率…合格者全体のうち、受講生合格者がどれくらい占めたのか?

合格率
一例

2016年度 1級建築士 設計製図試験
模擬基準達成者 1,929人中 合格者 1,164人

60.3%

合格者
占有率

直近30年間
No.1
当学院合格者の
1級建築士占有率
日建学院 1級建築士合格者 96,701人
全国累計1級建築士 164,244人

58.9%



私も
日建で頑張りました!

真実はひとつ!!

結

努力を結果に結びつける

あなたの夢、応援します。

日建学院

水戸校 駐車場完備

〒310-0852 水戸市笠原町978-27 IPICビル3F

TEL.029-305-5433

FAX.029-241-5128

つくば校 研究学園駅より徒歩3分

〒305-0817 茨城県つくば市研究学園5-1-4 高谷ビル3F

TEL.029-863-1166

FAX.029-859-5369

成田校 駐車場完備

〒286-0045 千葉県 成田市 並木町221-16

TEL.0476-22-8011

FAX.0476-22-8021

日建学院センター ☎ 0120-243-229

株式会社建築資料研究社 東京都豊島区池袋2-50-1 受付／AM10:00～PM5:00(土・日・祝日は除きます)

2 國際物流港湾の整備進展と企業誘致の取組

ひたちなか地区開発の中心をなす茨城港常陸那珂港区は、平成元年に建設に着工し、平成10年に一部供用開始となりました。北ふ頭地区の完成に続き現在進められている中央ふ頭地区の整備では、水深12m耐震強化岸壁が平成28年4月に供用を開始し、統けて新たな水深12m岸壁の整備事業に着手するなど、地方港湾としては異例のスピードで整備が進展しています。平成23年に、港湾に直結する北関東自動車道が全線開通し、港へのアクセスが大幅に向上したことから、港湾機能の強化と合わせ、ひたちなか地区は、北関東をはじめ、首都圏エリアにおける新たな物流拠点として着実に発展しつつあります。臨海地区には、工場で組み立てた大型建機の完成車を分解せずに自走で船積みし、そのまま輸出することができる立地の優位性により、大手建設機械メーカーが相次いで進出しました。

現在コンテナやRORO航路を中心とした大型船舶が定期的に来航し、取扱貨物量も増加しており、平成28年には過去最高の117万トンを記録しました。平成28年11月からは国内自動車メーカーの完成自動車の輸出が開始されたなど、更なる取扱貨物量の増加が見込まれています。

本市では、港湾や広域的な幹線道路をはじめとした物流インフラや、産業技術の集積などを活かした企業誘致、中小企業の技術力・経営力の向上支援、農業・水産業の後継者の育成などに積極的に取り組んでいます。産業の活性化を図りながら、働く場をしっかりと確保して、特に若い世代の方が安心して家庭を築いて定住することのできる「職住近接のまちづくり」を進めいくことが、活力あるまちづくりの基本であると考えています。

3 世界に通じる観光資源をいかした賑わいづくり



輸出されるSUBARUの完成自動車を積み込むRORO船

ひたちなか地区には、首都圏のレクリエーション拠点として平成3年にオープンした国営ひたち海浜公園があり、計画面積350haのうちおよそ200haが開園しています。この広大なエリアの中に四季折々の花が咲くフラワーガーデンや大草原、砂丘、遊園地などを有し、散策やサイクリング、スポーツなど、様々な世代に多様な楽しめる施設が充実しています。



ネモフィラを楽しむ観光客でにぎわう国営ひたち海浜公園



茨城港常陸那珂港区に初寄港した飛鳥II(平成28年9月)

トンを記録しました。平成28年11月からは国内自動車メーカーの完成自動車の輸出が開始されたなど、更なる取扱貨物量の増加が見込まれています。

本市では、港湾や広域的な幹線道路をはじめとした物流インフラや、産業技術の集積などを活かした企業誘致、中小企業の技術力・経営力の向上支援、農業・水産業の後継者の育成などに積極的に取り組んでいます。産業の活性化を図りながら、働く場をしっかりと確保して、特に若い世代の方が安心して家庭を築いて定住することのできる「職住近接のまちづくり」を進めいくことが、活力あるまちづくりの基本であると考えています。

り成す春の景観は、インターネットを通じて「世界の絶景」として海外でも知知名度が高まり、この「ゴールデンウイーク」には、県内一の58万3千人において、観光客も増加しているため、インバウンドに対応した施策として、駅などへ公衆無線LANを設置するとともに、観光パンフレットや案内表示板の多言語化に取り組むなど外国人観光客の誘致受入体制を整えていきます。

4 鉄道を軸にめざす地域の活性化

「ひたちなか海浜鉄道湊線」は、合併前の旧勝田市と旧那珂湊市を結び、通勤・通学、買い物など市民の生活の足として市内を運行する全長14.3kmの地方ローカル鉄道です。近年では、元気な地方鉄道として、全国から注目を集めていますが、かつては、年間200万人を超えた利用者数が、平成17年には70万人台前半にまで減少

し、廃線の危機に直面しました。存続のために市民有志が設立した「おらが湊鐵道応援団」による活動をはじめ、官民一体となった鉄道再生への取組が行われ、平成20年に湊線は市が出資する第三セクターとして、公募した社長の下に新たなスタートを切りました。順調に利用者を伸ばしていく矢先、平成23年に発生した東日本大震災により全線にわたって被災し、運休を余儀なくされました。が、官民挙げての復旧活動、復興支援のほか、応援団や地元商店街の呼びかけに応じた多くの方々からの寄付金など多大なご協力により3か月で復旧を遂げました。現在でも応援団は地域振興と一体となつた精力的な活動を継続し、湊線を力強く支えてくれており、ひたちなか海浜鉄道は、乗客数を安定的に確保しながら、現在では收支均衡も目前のところまで来到っています。

このような中、市とひたちなか海浜鉄道は、乗客数を安定的に確保しながら、現在では收支均衡も目前のところまで来到っています。

延伸事業とは別に、湊線の既存路線の平磯駅と磯崎駅の間に新駅を設置する計画があります。少子化が進行する湊線沿線の平磯・磯崎・阿字ヶ浦地区の5つの小中学校を統合し、小中一貫校を新設する計画で、開校予定の平成33年度に合わせて、学校の最寄りの駅を造り、通学に湊線を利用いただくという、公共交通と一体となる教育環境の整備を行なうものです。

本市では初めてとなる小中一貫教育の魅力により、この地域に移り住む方の増加も期待しています。

5 子育て支援・教育の充実を推進

延伸事業とは別に、湊線の既存路線の平磯駅と磯崎駅の間に新駅を設置する計画があります。少子化が進行する湊線沿線の平磯・磯崎・阿字ヶ浦地区の5つの小中学校を統合し、小中一貫校を新設する計画で、開校予定の平成33年度に合わせて、学校の最寄りの駅を造り、通学に湊線を利用いただくという、公共交通と一体となる教育環境の整備を行なうものです。

本市では初めてとなる小中一貫教育の魅力により、この地域に移り住む方の増加も期待しています。



ひたちなか海浜鉄道湊線



活気ある那珂湊おさかな市場



第30回 茨城建築文化賞

茨城県知事賞[最優秀賞] 土浦市立都和小学校
●株式会社 増山栄建築設計事務所



本市の人口はほぼ横ばいで推移しておりますが、世帯数は増加傾向で家族化が進んでおり、子育てや介護をされています。本市では地域社会における人と人のつながり、「地域の絆」による支え合いを促進するサロン活動の運営支援を行っております。一方、地元のサロンにはなかなか最初は参加しづらいという市外から転入された方々もいます。このため、市中心街地に民間企業が所有していた建物を取得・活用し、緑豊かな良好な環境の中、だれもが気軽に利用することができます。「子育て支援・多世代交流施設」を整備しているところです。本年10月のオープンを目指しており、2階には、子どもを遊ばせながら育児について相談もできる子育て支援の拠点を設けるほか、1階には生涯学習や青少年団体の活動の場などの市民活動支援機能を集約し、3階は子育て世代や高齢者のサロンが利用できる部屋を備えるなど、多世代の交流を促進してまいります。

このほか、近年の保育所入所希望者の増加を踏まえた保育所の新設支援や、いわゆる「子どもの貧困問題」への対応として学校の放課後教室を活用



本市は市民活動が非常に活発で、若い世代が安心して家庭を築き、子どもを育んでいくことができるよう、働き場所の確保とあわせて、子育て支援、教育環境の整備に力を入れて取り組んでいるところです。

した学習支援学童クラブの充実など、協働のまちづくりを進めております。中学校区単位の全てのコミュニティ組織において、地域活動の拠点である「市民力」の高さが本市のまちづくりにおける強みの一つとなっています。平成22年4月に「自立と協働のまちづくり基本条例」が市民の手作りでつくりあげられ、市民、行政、議会による協働のまちづくりを進めております。中学校区単位の全てのコミュニティ組織において、地域活動の拠点である「市民力」の高さが本市のまちづくりにおける強みの一つとなっています。平成22年4月に「自立と協働のまちづくり基本条例」が市民の手作りでつくりあげられ、市民、行政、議会による協働のまちづくりを進めております。中学校区単位の全てのコミュニティ組織において、地域活動の拠点である「市民力」の高さが本市のまちづくりにおける強みの一つとなっています。今後も地域住民や民間の皆様と連携を図りながら、協働によるまちづくりを推進してまいりたいと考えております。

茨城県建築士事務所協会の皆様におかれましては、日頃から建築を通して本市の景観に関わっていただいておりますので、専門的な知識・技術や高いセンスをいかしてご提案を発信していただければありがたいと思っております。引き続き、本市のまちづくりにご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに

本市は市民活動が非常に活発で、

「市民力」の高さが本市のまちづくりにおける強みの一つとなっています。

平成22年4月に「自立と協働のまち

づくり基本条例」が市民の手作りでつ

くりあげられ、市民、行政、議会によ

り組んでいるところです。

した学習支援学童クラブの充実など、

若い世代が安心して家庭を築き、子

どもを育んでいくことができるよう、

働き場所の確保とあわせて、子育て支

援、教育環境の整備に力を入れて取

り組んでいるところです。

した学習支援学童クラブの充実など、

若い世代が安心して家庭を築き、子



茨城県知事賞[最優秀賞]
土浦市立都和小学校

●株式会社 増山栄建築設計事務所
住所／茨城県土浦市荒川沖西1-1-4 電話／029-843-6011
●協力事務所 構造／有限会社けっそく設計 電気・機械／株式会社 蒼設備設計
●建物所在地／茨城県土浦市並木五丁目4826-2、4830-27
●建物用途／小学校 ●構造／RC造
●建築面積／2,306.50m² ●延床面積／5,212.58m²

創立143周年を迎えた都和小学校にとって、今回が3回目の校舎改築となる。新校舎を既存の体育館とペルに近い、校庭の南側に配置した。これにより仮設校舎を必要とせず、竣工後も既存施設とスムーズな動線で繋がる計画としている。コンパクトな中廊下形式を採用し、静かで落ち着いた南側に普通教室を配置。北側のワークスペースや図書室、3層吹き抜けの昇降口には、柔らかな光を取り入れ、明るくのびのびとした空間を実現した。ま

た上下階のワークスペースを結ぶオーブンな階段が、学年を超えた活動やつながりを生み出す。敷地内にあったヒマラヤ杉を加工したベンチや、茨城県産材を利用した図書室の机や椅子など、子供たちが『木のぬくもり』に触れることができるよう、積極的に木材を活用し、あたたかみのある空間を目指した。夏には子供たちがバルコニーの雨水タンクの水を使って育てた『緑のカーテン』が加わり、3代目の校舎が『竣工』を迎えた。

積極的な木材活用で『木のぬくもり』に触れる、のびのびとしていてあたたかみある空間を目指した。

茨城県議会議長賞[優秀賞] 古河市立古河第一小学校



- 有限会社 長塚建築設計事務所 住所／茨城県古河市原町4-2 電話／0280-22-2323
- 協力事務所 構造／有限会社 戸田 巧 建築研究所 電気・機械／株式会社 ケーエフ総合設備
- 建物所在地／茨城県古河市中央町三丁目10-1
- 建物用途／小学校 ●構造／RC造一部S造
- 建築面積／4,004.64m² ●延べ床面積／6,528.49m²

地域の核となる学校づくりを目指し、良好な景観とうるおいのある空間を形成。

古河城出城跡に立地する古河第一小学校において「歴史・文化が漂う緑に包まれた学校」を主旨に、地域住民の意見も取り入れ、歴史の面影や場の記憶を残した地域の核となる学校づくりを目指した。

明治37年創立当初のままのレンガ造りの「赤門」を中心に中庭、昇降口を配し高台に校舎棟を整備、西門からは堀跡の名残である敷地の高低差を利用し、石垣の城門のように校舎の下をくぐり中庭へ。記憶にある木造校舎の妻入玄関や日本瓦切妻屋根、

レンガタイル、石積みは周囲の歴史的景観と調和し、良好な景観とうるおいのある空間を形成。内部は木を多用し暖かみのある空間とし、昇降口、廊下は、吹抜や天窓により採光・通風を取り入れ広く明るい活動空間、中庭やテラスへの連続性を計画。図書・P.C教室は連携利用、続く多目的室は開放的で明るい空間とし全児童対応の広さを確保、ラーニングゾーンを形成、また古河歴史博物館や渡良瀬川を望み古河らしさを感じる一小を象徴する空間とした。





茨城新聞社賞[優秀賞]

下館第二高校普通教室棟

●横須賀・河野建築関連業務共同企業体
住所／茨城県水戸市南町2-1-18アーキビル 電話／029-225-4353
●協力事務所 構造／有限会社 崇建築研究所 電気／川又設備計画 機械／株式会社 菊地設備設計事務所
●建物所在地／茨城県筑西市岡岸1119
●建物用途／高等学校 ●構造／RC造 ●建築面積／1,630.07m² ●延床面積／3,840.15m²



学園は魅力のある学習・生活環境を創出する

本事業は、従前の旧普通教室棟が竣工から40年以上を経過し、構造および機能上の老朽化が進行していることから、改築を実施したもので、普通教室棟という限られた用途の校舎を建て替える中で、学園全体として魅力のある学習・生活環境を創出するために、3つの提案を試みました。

1 生徒たちの憩いの場である既存の中庭をリニューアルし、自然と一緒に育つ潤いのある学園環境を創出しました。

2 限られた面積を有効に活かし、コンパクトでありながら交流空間や教室廻りの学習スペースを充実。

3 シンプルな佇まいの中で、生徒達の活動が素直に沿道に表出され、その風景そのものが街づくりに寄与できるような学校づくり。

そして、この3つの提案を、筑西市の財産でもあるつくば山への眺望や、先人が残した芸術文化を生かしながら、この地だからこそできる学校づくりを考えました。



自然と共に子どもたちが生きる家

子どもたちが五感を通じて自然とふれあい、共に生きることを実感し創造性豊かに成長していく園舎を目指して計画しました。園舎と園庭と一体感を持たせるため、緩やかな半円形のカーブを描きながら子供達や園庭を優しく包み込む造形としています。

[テーマ]

1 子供達の健康を第一に考え温かい木造園舎とし、可能な限り無垢材や自然素材を用いた職人の手仕事の見える建築とし、また地産

地消及び本物に触れるという意味から、茨城県産の木材を積極的に活用する。

2 自然の光や風をふんだんに取り入れた、地域の気候や暮らし方など、土地の風土と調和した空間で子供達が生き生きと日々を過ごせるシンプルな建物とする。

3 園舎園庭が周囲の森の木々と調和した関係性を形成し、その一体的景観が子供達の原風景として、未来に向かう心に刻まれるような場所とする。



茨城県土木部長賞[優秀賞] 野草舎森の家

●有限会社 吉田建築計画事務所
住所／茨城県石岡市石岡1-18 電話／0299-56-3246
●協力事務所 構造／株式会社 シェルター 電気／前川プランニング
機械／NASファシリティーデザイン室
●建物所在地／茨城県鹿嶼市大字山之上字広内611番地16外6
●建物用途／保育所 ●構造／木造 ●建築面積／905.69m² ●延床面積／895.92m²





[住宅部門優秀賞] ホワイ工のある家

●有限公司 時空遊園 住所/茨城県つくば市下柴崎999-7 電話/029-850-6710
●建物所在地/茨城県つくば市 ●建物用途/戸建住宅 ●構造/在来木造 ●建築面積/123.18m² ●延床面積/111.81m²

広々と広がる水田と筑波山の眺めと4種類の高さの異なる空間を楽しめる家です。田園風景を取り入れる東側の窓は広く開放し、西側は坪庭を設け、開放的窓にし、南側は道路と接続する階段を設け、開放的窓にし、北側は高窓で自然採光を確保しました。窓枠は、穴蔵のようなくわわ感のある空間としました。ホワイ工とりビングをつなぐ階段は幅広く設け、

また、二階の書斎に上がる階段はスリップ階段にして、性質の異なる空間をつなげました。和室は、リビングから二階へ上がる階段の途中にあり、他と独立した空間にしています。ホワイ工の上部は、家族の書斎になつており、無垢杉板の大きな斜め屋根を感じられるスペースとなっています。破風、軒天、天井は同素材にし、天井の窓枠が見えない納まりにし、4種類の高さのある空間を一枚の大きな屋根で覆つたデザインにしました。

4種類の高さのある空間を屋根で覆う

●岩瀬卓也建築設計事務所 住所/茨城県常陸太田市稲木町866番地 電話/0294-72-6121
●建物所在地/茨城県日立市 ●建物用途/住宅 ●構造/木造 ●建築面積/62.58m² ●延床面積/109.71m²



[住宅部門最優秀賞] 大雄院通りの家

大雄院通りは、同地の神社に奉納されている日立風流物（山車と人形）が公開されるお祭り通りです。敷地の周囲は、住宅や商店が軒を連ね、建物同士が近接しており、採光確保の観点から、居間と隣接する中庭を設けました。この中庭は、祭りの際には、大勢の来客を受け入れる場所となり、普段は和室へのアプローチを少し特別にする場所となります。居間には、中庭との一体的な利用を促す工夫として、壁・床の仕上げを抑え、吹抜や高窓を併用しています。

また、離れのようなくわわ感のある窓を設けました。ひとつは中庭や居間に向けて開かれ、もうひとつは将来隣家の減築（予定）に伴い広がるであろう小さな庭に開かれています。普段の暮らしには、暖かい御裾分けを、祭りの際には、賑わいの御裾分けを、数年先には、いつた具合で異なる時間や状況に対する感覚が集まつて、この家（空間）は構成されています。

壁・床の仕上げ、吹抜や高窓で中庭と一体的に

[入選] 生長の家茨城県教化部 新会館

●清水建設株式会社 一級建築事務所 住所/東京都中央区京橋2丁目16-1 電話/03-3561-2168
●建物所在地/茨城県笠間市泉887 ●建物用途/宗教施設 ●構造/木造 ●建築面積/711.84m² ●延床面積/678.73m²



地産地消に徹底した木架構空間を実現

笠間市の豊かな自然の中に建つ、木造平屋の建物である。建設から廃棄に至るまでのCO₂排出量を低減し、地元の森林資源を持続可能な形で活用するために、建物は木造としている。敷地特性を生かし、自然通風や自然採光、太陽熱、地中熱などの自然エネルギーを利用して徹底した省エネを図り、更に太陽光発電や電気自動車を活用した蓄電システムなどの創エネ技術を積極的に採用、化石燃料を一切使用せずにゼロエネルギービルを実現した。尚、昨年4

月1日からスタートした建築物省エネ法に基づく省エネ性能表示制度で、日本で初めて第三者機関によるZEBの評価を受けた。外壁材から床材、家具材まで茨城県産材を利用、また薪や太陽熱利用など建設資材からエネルギー源まで徹底して地産地消を図り、地球環境・地域貢献に配慮した。構造は方柱架構の独立性や、組立梁など新しい架構により構造立体モデルによる解析を行ない、開放的でダイナミックな木架構空間を実現した。

[住宅部門優秀賞] 茨城町T邸

●a-su建築設計事務所 住所/茨城県水戸市西原3-4-34西原コーポ2A 電話/029-306-9968
●建物所在地/茨城県東茨城郡茨城町 ●建物用途/住宅 ●構造/木造 ●建築面積/155.69m² ●延床面積/132.09m²

道路側に壁の多い構成で音・視線をコントロール

敷地は東に北関東自動車道、周辺は畠と元は農地だった場所で、朝夕と散歩をする方が多く、視線と音のコントロールが大きな問題でした。そこで、道路側は壁の多い立面構成とし、高速側からの音を和らげ、光と風はハイサイドから取り入れ、内部ではこの壁面が空間に落ち着きました。そこで、道路側は壁の多い立面構成とし、高速側からの音を和らげ、光と風はハイサイドから取り入れ、内部ではこの壁面が空間に落ち着きました。この壁面により、塀を省略し、周囲に対して開いた構成となり、街や人との精神的な距離感を縮めることを目指しました。内部構成は天井高を抑え、

天井を板張りとした空間が大小の空間をまとめ、動線となる目線の先は必ず開口とし、外構では樹木を配置することで、内部からの開放感と外からの視線をコントロールしました。各寝室の東側には開口を設け、朝陽を取り入れ、各寝室が中庭を介して、外部ではこの壁面が空間に落ち着いています。道路側は、この壁面により、塀を省略し、周囲に対して開いた構成となり、街や人との精神的な距離感を縮めることを目指しました。内部構成は天井高を抑え、



棟を回廊で廻る事で一体感のある全体構成

[入選] 茨城育成園

児童福祉施設における役割が増える一方で、管理のしやすさを求めた施設としての建物が多く家庭的な環境づくりはまだ不十分だと感じます。そこで、一般的な家庭と同じ様に子供達が「自分の家」だと感じられる木の空間作りが必要だと考えました。

建物はすべての棟が放射線状に配置されていますが、軸線をずらすことことで求心性を和らげると共に、中心にやわらかいおにぎり型の中庭を作りだしています。北棟と南棟は

主に居住スペースとして、事務棟は地域交流スペース等に使用する事で居住空間の独立性は確保され、各々の棟を回廊で廻る事で一体感のある全体構成となっています。

リズミカルな外見の特徴である高さを変え連続した屋根は、端部

で威圧感を無くし内部空間に落ち着いた印象をもたらしています。この様なスケール感の調節や、木造の温かみある空間が家に居る安

心感を与える工夫になっています。

- 株式会社 中山大輔建築設計事務所 住所／栃木県宇都宮市インターパーク3-3-7-603 電話／028-902-8353
- 協力事務所 構造／小林建築構造設計室
- 建物所在地／茨城県筑西市美浜1775
- 建物用途／児童養護施設 ●構造／在来輪組工法木造 ●建築面積／1,017.97m² ●延床面積／1,168.55m²



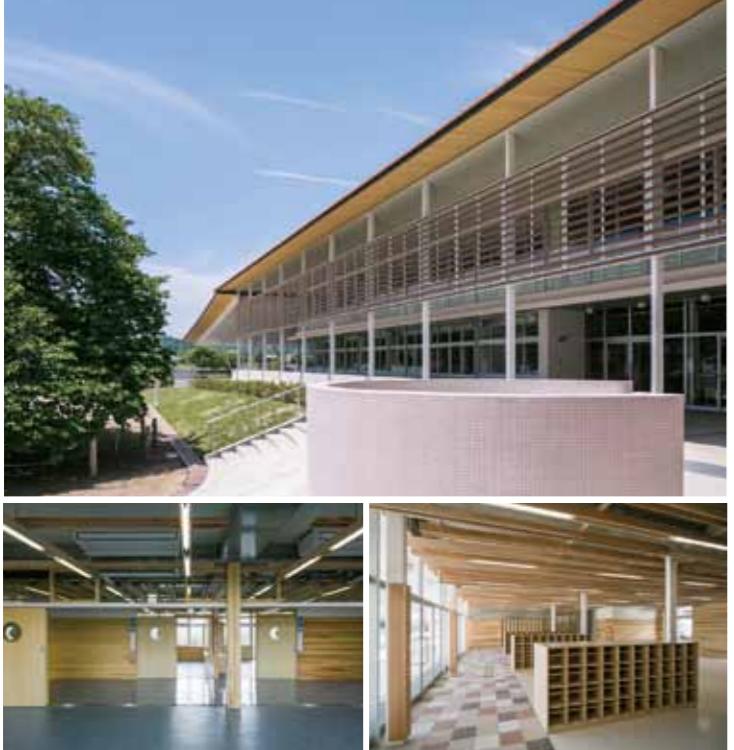
4種類の高さのある空間を屋根で覆う

常陸太田特別支援学校の小中学校部棟は、樹齢80年の「瑞桜」を取り囲むようにし字型に配置しています。子どもたちをやさしく迎える校舎を目指し、ゆるやかな勾配の寄棟の屋根をかけ、素焼き瓦で葺きました。

敷地内の高低差を解消するため、L字型の校舎の中央に昇降口を設け、バスロータリーから屋根のある緩やかなスロープでつなぎます。このスロープは「瑞桜」と名付

けました。毎日の登下校の時に、子供たちが桜坂から瑞桜を眺めながら四季の変化を感じられるようになります。

内部は壁や天井ルーバーに県産材を多く使用し、温かみのある空間としました。床には、教室のゾーンごとにテーマカラーを設け、子どもたちが自分の居場所を認識しやすいようにするとともに、明るく楽しい学校生活を過ごせるようにしました。



[入選] 道の駅常陸大宮～かわプラザ～

- 株式会社 協和コンサルタンツ 住所／東京都渋谷区笹塚1-62-11 KECビル 電話／03-3376-3229
- 協力事務所 構造／株式会社 協和コンサルタンツ・澄川建築事務所 電気・機械／株式会社 協和コンサルタンツ
- 建物所在地／茨城県常陸大宮市岩崎字北川原717番地1他25筆
- 建物用途／道の駅(公衆便所・物販・飲食施設) ●構造／鉄骨造 ●建築面積／3,050.612m² ●延床面積／2,759.080m²

ふるさとの風景の美しさを再発見する場所

敷地は久慈川の流れに面する美しい里山に囲まれ景観の中にあります。計画ではその立地を生かし、風景と調和する施設となるよう考きました。

まず久慈川の流れが施設から見える高さに敷地を造成するとともに、久慈川に近づけるように河川敷を親水広場として整備しました。

さらに風景と施設の一体感を持つように、その風景を包括する大きな円弧状に堤防を再整備し

ています。

これらの、その場所に呼応するよ

うなひとつひとつの試みが、地域に普通にあった「ふるさとの風景の美しさを再発見する場所」となるものと考えました。



[入選] 石渡産婦人科病院

- 有限会社 海谷設計事務所 住所／東京都豊島区日暮3-7-6 電話／03-3950-4679
- 協力事務所 構造／株式会社 梅沢建築構造研究所 電気・機械／有限会社 ZO設計室
- 建物所在地／茨城県水戸市上水戸一丁目4番地21号
- 建物用途／病院 ●構造／鉄筋コンクリート造 ●建築面積／955.08m² ●延床面積／2,896.45m²

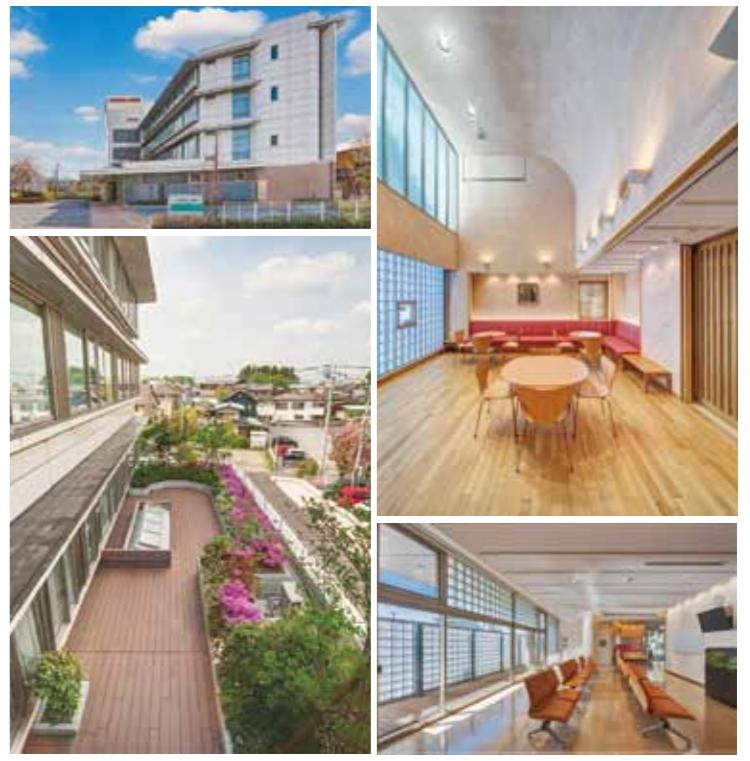
地域の周辺環境、景観上の配慮

西側計画道路完成が成されていない周辺街路を緑豊かな環境の方へ。敷地境と建物との間に2重のグリーンベルトを入れ、2階の丘にルーフガーデンと6本の桜。寒緋桜、染井吉野など桜を通して、地域の共

有の出来る場所に育てる。四季折々の花の咲く和みの空間、心温まる日常をつくり出す。道路完了後も4本の桜は生かされることで、将来も持続する環境となる。明るく、温かな雰囲気の病院づくり。外光を十分に取り込み、視線が抜ける空間、

開放感のある室内環境を造り、周囲が緑縁環境で包まれ、目に優しい場所をつくる。全館床暖房。災害時対応は割れない硝子を使用。地域に密着した、安心、安全、患者様に喜ばれる環境を整える。

平面構成／待合ロビーを産科と婦人科に柔らかく隔てる。婦人科ロビーも心理的安心感をつくる。ハイサイドライトからの自然光、間接照明の天井の高く落ち着いた場所とされる。外来診療部もこれに対応する。



2017.July



理事会だより

平成29年2月22日(水)

- 各委員会の活動状況報告
- 日事連会議等報告
- 平成29年度事業計画・予算案について
- 会員増強について
- 新入会員の承認について
- その他

平成29年4月26日(水)

- 各委員会の活動状況報告
- 日事連会議等報告
- 平成28年度事業報告・収支決算について
- 監査報告
- 平成29年度事業計画・予算案について
- 平成29年度通常総会について
- 会員増強について
- 新入会員の承認について
- 公益目的支出計画について
- その他

「茨城学生建築展」は県内の建築系学科を有する各学校（高校・専門学校・大学）と連携して、学生の優秀作品を表彰しエールを送りつつ、さらに学生たちの交流を深めようとするものです。今回は茨城大学、筑波大学、筑波技術大学、筑波研究学園専門学校、日建工科専門学校、専門学校文化デザイナー学院、県立下館工業高等学校、県立つくば工業高等学校、県立水戸工業高等学校の9校から計39作品の応募がありました。

第2回とほぼ同じ応募作品数となり、笠間市や関連団体の協力のもと、無事開催する事が出来ました。来年も同時期に「第4回茨城学生建築展」を開催する予定ですので、ぜひ会場に足を運んで、学生たちの力作を見ていただければと思います。

2 第30回茨城建築文化賞

第30回茨城建築文化賞の応募総数は47件でした。昨今の建設事情により案件

【総務委員会】委員長 井坂光宏
1 第3回茨城学生建築展

県内における建築関連学校の学生による作品を対象とした「第3回茨城学生建築展」が2月23～26日にかけて、笠間市の「笠間の家」で開催されました。23日に審査会を行い、応募作品39点の中から事務所協会賞、建築士会賞、笠間市長賞など7賞に10作品を選出し、26日に笠間工芸の丘クラブホールにて表彰を執り行いました。

間工芸の丘クラブホールにて表彰を執り行いました。

賞など7賞に10作品を選出し、26日に笠間工芸の丘クラブホールにて表彰を執り行いました。

【企画委員会】委員長 柳下文江
1 長期的計画の立案

今年度は新しい企画として、会員に役に立つような活動を新規事業として考案することを目的に、検討する項目を挙げました。新規事業についても会員の皆様からご意見をいただきたくお願いします。

2 特殊建築物定期報告及び耐震診断

周知啓発事業

国民の安全な日常を守るという観点から特殊建築物の定期報告等すすめられています。委員会としても業務委員会と活動を調整し、周知活動を進めてまいります。

3 住宅相談

毎月第1・第3土曜日に水戸・つくばの建築センターで開催しています。

また、毎年、県内数か所においても住宅相談の派遣依頼を受け実施しますので、相談担当としてリフォームアドバイザーの資格を有している会員の協力をお願いします。

4 インターネットを使った広報活動

会報「茨城」とともに協会の情報を発信しているホームページです。講習会情報や時事情報など会員にはもちろん会員示します。今年度も随時作品を募集します。応募要項については事務局までお問い合わせください。

5 若手建築家育成事業

若手建築家の育成事業としてのプロ

ボーザルコンへの実施に向けて情報の収集に努めています。会員の皆様にも情報提供をお願いいたします。

6 リフォームアドバイザー派遣・養成事業

リフォームアドバイザーの派遣・養成等にもついても委員会として積極的に協力いたします。

1 会報「茨城」の発行

会報「茨城」65号(総会号)

広報委員会は、建築設計監理業務の果たす社会的役割の啓蒙、宣伝、会報誌の編集発行広報に関する事項等の担当委員会です。今年度の活動予定について紹介します。

2 建築士事務所キヤンペーン

平成30年1月の発行予定です。建築視察研修旅行、年末懇親会、親睦ゴルフ大会、建築士事務所キヤンペーン等の報告を掲載する予定です。取り上げてほしい記事等がありましたら、広報委員会までご連絡をお願いいたします。

3 会員親睦ゴルフ大会

年一回、正会員、賛助会員一同に会し行われる懇親ゴルフ大会。

今年は9月27日(水)富士カントリークラブで開催されます。

是非ご参加いただき懇親を深めて頂ければ幸いです。

4 年末懇親会

今年も、政界、行政の方々に出席頂き又正会員、賛助会員の懇親を深めるべく12月1日(金)三の丸ホテルにて開催されます。楽しい年忘れ企画していますので、ぜひご参加ください。

5 会員住宅写真展

会員事務所のPRに役立てていただければと考え、会員の皆様から寄せられた

が少ないと思われる中、多くの会員の皆様よりご応募いただき、誠にありがとうございます。

3月21日に書類と写真による一次審査を行い、上位5作品が選ばれ、4月15日に各作品の現地を視察したのち、二次審査を行いました。結果は新聞紙上にて生建築展が2月23～26日にかけて、笠間市の「笠間の家」で開催されました。23日に審査会を行い、応募作品39点の中から事務所協会賞、建築士会賞、笠間市長賞など7賞に10作品を選出し、26日に笠間工芸の丘クラブホールにて表彰を執り行いました。

また、今年度も県内各地で開催されるイベント会場での住宅相談にも担当者の派遣、協力をいたします。

4 賛助会との意見交換会

賛助会会員と関連する企業との交流の場を企画いたします。

5 若手建築家育成事業

若手建築家の育成事業としてのプロ

ボーザルコンへの実施に向けて情報の収集に努めています。会員の皆様にも情報提供をお願いいたします。

6 リフォームアドバイザー派遣・養成事業

リフォームアドバイザーの派遣・養成等にもついても委員会として積極的に協力いたします。

【会員委員会】委員長 金澤重雄
1 会員増強活動

日頃より会員委員会活動にご協力頂きありがとうございます。

2 「要望書」各種業務報酬基準をホームページに掲載しています

昨年は皆様のご協力のおかげで14社の入会がありましたが、残念ながら退会もあります。ありがとうございます。

3 講習会等

毎月第1・第3土曜日に水戸・つくばの建築センターで開催しています。

4 「要望書」各種業務報酬基準をホームページに掲載しています

8社となっています。退会原因の大きなります。

5 請習会等

現在会員数は3月末現在で496社となっています。

6 制定基準をまとめた「要望書」を関係業務

の発注機関向けに作成し、配布、説明を実施しています。会員向けのページにおいても、委員会議事録の閲覧、事務所登録情報の更新などができるようになっています。

7 「要望書」を掲載しています

最新情報をお届けするにはEメールアドレスが必要となりますので、未登録の方は是非登録願います。

8 「要望書」を掲載しています

入会メリットを感じてもらえるよう施策を重ねています。住宅ローン優遇制度は常陽銀行に加え、今年度からつくば銀行

9 「要望書」を掲載しています

入会がありますが、残念ながら退会もあります。

10 「要望書」を掲載しています

8社となっています。退会原因の大きなります。

11 「要望書」を掲載しています

8社となっています。退会原因の大きなります。

12 「要望書」を掲載しています

8社となっています。退会原因の大きなります。

13 「要望書」を掲載しています

8社となっています。退会原因の大きなります。

14 「要望書」を掲載しています

8社となっています。退会原因の大きなります。

15 「要望書」を掲載しています

8社となっています。退会原因の大きなります。

16 「要望書」を掲載しています

8社となっています。退会原因の大きなります。

17 「要望書」を掲載しています

8社となっています。退会原因の大きなります。

18 「要望書」を掲載しています

8社となっています。退会原因の大きなります。

19 「要望書」を掲載しています

8社となっています。退会原因の大きなります。

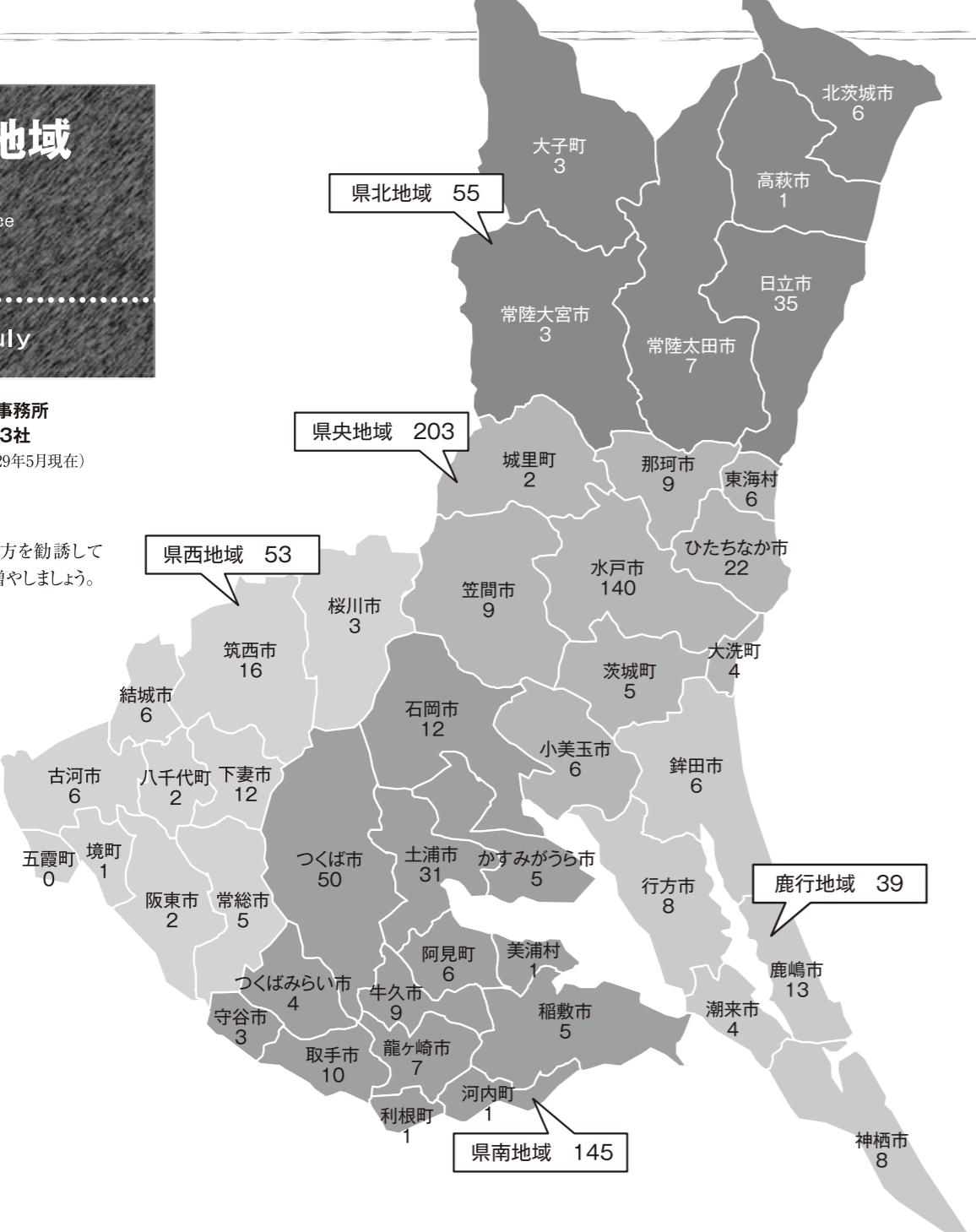
会員地域 一覧

Editors Voice

2017.July

●正会員 495事務所
●賛助会員 153社
計 648 (平成29年5月現在)

入会案内書
未加入事務所の方を勧誘して
いただき、仲間を増やしましょう。



建築のプロフェッショナルとして、可能性を拓げるために——。
私たちと一緒に活動しませんか？

約500の建築士事務所(正会員)と
約150の関連企業(賛助会員)が、
あなたの参加を待っています！

- 1 地域に貢献する
- 2 最高の仲間をつくる
- 3 建築士に必要な最新の知を取得する
- そして挑戦する

入会のお誘い

一般社団法人茨城県建築士事務所協会は、建築士事務所の業務の適性な運営を確保するとともに、建築設計・工事監理業務の進歩改善と品位の保持向上、及び設計等を委託する建築主の利益の保護を図り、建築文化の向上と発展に努め、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的とした一般社団法人です。

[研修委員会]委員長 小坪真司
研修委員会は、会員事務所の資質向上に寄与するため、各種講習会と研修事業を企画開催しています。今年度の事業予定をお知らせいたしました。

1 第1回知事指定管理講習会

平成29年7月19日(水)

茨城県建設技術研修センター

第2回知事指定管理講習会

平成30年1月18日(木)

茨城県建設技術研修センター

3 第3期建築士定期講習会

平成29年7月29日(土)

茨城県建設技術研修センター

2 明日を創る建築講習会

平成29年11月24日(金)

茨城県建設技術研修センター

4 スキルアップセミナー

平成30年2月22日(木)

茨城県建設技術研修センター

5 建築視察研修旅行

平成30年2月頃

茨城県建設技術研修センター

景観まちづくり委員会
委員長 藤井耕市
景観まちづくり委員会としての現在の取り組みは、常総市をターゲットとして、新たなまちづくりの提案を模索している最中です。まだ、始まったばかりで、是非ご参加ください。

1 常総市を拠点として

当委員会は、今後この委員会がどういう方向で活動していくべきか、常に葛藤しております。皆様のご意見などありますなら、ぜひお聞かせください。参考にさせていただきたくお願い致します。

現地視察や市に対するヒアリングなどを委員会全員で行う予定です。これらの作業なので内容はどういうことになります。まだわかりませんが、平成27年9月に水害の被害に遭った常総市で、新たなまちづくりの提案ができるかと思つております。

2 大洗町の取り組み

大洗町の取り組みとして、委員会では数回にわたり現地視察や町に対するヒアリングなどを実施しましたが、大洗町で「大洗駅前基本構想会議」が開催されることとなり、委員会として方向を変えて会議に参加をし、意見を伝えるべきではとなり、その委員として招聘を受け参加してまいりました。

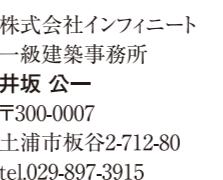
町長はじめ、行政側だけでなく民間の町の重責を担うメンバー構成であり、委員長には茨城大学の小柳先生、副委員長に私藤井が指名をされ、3回の会議が行われる中、活発な意見・議論があり、駅前活性化だけでなく町全体をどうするかなど有意義な会議となりました。

当委員会は、今後この委員会がどうい

う方向で活動していくべきか、常に葛藤

しております。皆様のご意見などありま

したならば、ぜひお聞かせください。参考にさせていただきたくお願い致します。



株式会社インフィニート
一級建築事務所
井坂 公一
〒300-0007
土浦市板谷2-712-80
tel.029-897-3915



有限会社 時空遊園
岩永 幸呼
〒305-0004
つくば市柴崎999-7
tel.029-850-6710



有限会社 甲賀設計事務所
甲賀 友大
〒312-0058
ひたちなか市西光地1丁目12-11
tel.029-272-4318



アーキ・アライブ 一級建築事務所
李 相鉄
〒310-0804
水戸市白梅4-1-16-102
tel.029-239-5297



石井邦明デザインスタジオ
石井 邦明
〒310-0913
水戸市見川町2131-925
tel.029-350-4466



株式会社エンデバーツカコシ
塙越 康一
〒304-0068
下妻市下妻丁339-3
tel.0296-44-2822



2017.July

皆さまよろしくお願ひいたします。

2017.July

AoyamaArchitect 株式会社青山建築設計事務所

〒305-0033
茨城県つくば市東新井143 ハバシビル4階
TEL 029-851-7430(代) FAX 029-851-7600
E-mail : ler00152@nifty.ne.jp



株式会社 若柳建築事務所

〒305-0868 茨城県つくば市台町1丁目8-1
TEL:029(886)8034 FAX:029(886)8035 URL:<http://wakayanagi.co.jp>



時 空 遊 園

JIKOYOON ARCHITECTS

www.jikoyooen.com

例 年の事ながら、5月19日総会が盛大に行われました。会報誌の準備も順調に進んでいます。表紙の選び方は、いつも皆で投票して決めており、楽しい時間でもあります。(早川)

原 稿チェックをひと通り終え、編集後記を記した日付は6月12日。データを確認したところ、昨年より2日ほど前倒しのようです。チェック漏れはないか…の不安は毎度変わりません。

さて、本号の表紙は建築物ではありません。ひたちなか市を巡っての撮影ですので、「撮り鉄」のような一枚も予想されました。浜公園の不モフイラと背景に常陸那珂港をのぞむ構図となりました。委員会でもいろいろな意見が交わされました。本号は

先 日友人に誘われ、阿字ヶ浦から平磯・大洗・大竹にかけて、海岸線を巡る機会を得ました。昔は白く広がっていた砂浜が、浸食により砂が流失し、波打ち際が抉られた様相や、それを防止する為に造られたとされるヘットランド等の構造物の多さ等々、茨城の海の変貌に改めて驚き、色々と考えさせられた一日でした。(富田)

久 方ぶりの編集後記で、広報のお仕事をサボっていたのがわかつてしまいしますね。

個人的に今年は出来るだけ、歴史ある建物旅館に泊まり、時の面影を感じたいと思っています。

関東ブロック大会(建築士会)で箱

編集メンバー

早川 富二雄	大山 早嗣
小谷野 栄次	市毛 純一
塙 秀之	富田 清一
鈴木 啓之	中嶋 妙子
江面 松男	茂垣 直樹
郡司 政美	石崎 尚

会報[茨城]

2017年7月 第65号
発行 ● 平成29年7月1日(年2回1月・7月発行)
発行部数 ● 900部
発行者 ● 一般社団法人 茨城県建築士事務所協会
会長 横須賀満夫
〒310-0852 茨城県水戸市笠原町978-30
建築会館2階
TEL:029-305-7771 / FAX:029-305-7791
ホームページ <http://www.i-jk.org>
Eメール ikyokai@i-jk.org

制作 ● (株)メディアクロス水戸
<http://www.i-jk.org>

建築文化賞の特集も組むことから建築物の写真は盛りだくさんとなります。最終的には表紙の写真に落ち着きました。

最近、紙面づくりも設計と同じだなとつくづく感じています。手を掛ければそれなりのかたちになりますが、何も考えてないと、うすっばらな誌面になります。今後もそんな気持ちを忘れず励みたいと思います。(大山)

夏には、信州・戸倉上山田にある、ライトに師事した、遠藤新・設計の別荘を旅館とした登録有形文化財の建物に泊まるうと思っています。

また、神戸へ、女性委員会(建築士会)の皆で行くことになり、「建築・見学」に浸る一年となりそうです。そこでお仕事と共に、広報委員会の仕事にも、力を入れて取り組んで行きたいと思います。(中崎)

根に行くので、数ある名旅館で迷いましたが、将軍家とも関わり深いとされた登録有形文化財のお宿に泊まることにしました。



・地質調査全般・各種土質試験・さく井工事

常磐地下工業株式会社

代表取締役 伊藤 美智子

本 社 〒317-0056 茨城県日立市白銀町2丁目24番11号
TEL 0294-22-8196 FAX 0294-22-9852
E-mail : info@jyouban.co.jp

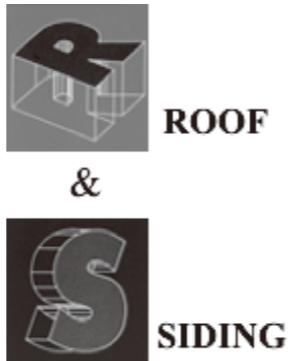
ひたちなか 営業所 〒312-0062 茨城県ひたちなか市高場2丁目13番地4
TEL 029-212-7660 FAX 029-212-7661

美しく、強く
機能美の頂点へ…

私たちは、自然景観と機能性との調和をテーマとして、
公共施設、レジャー施設、近代都市型工場から一般住宅まで、
金属工事のスペシャリストとして、また、未来を見つめ
確かな時代の先駆者として道を拓いていきます。

金属屋根設計製造施工
株式会社 萬道総業
<http://www.mandou.co.jp>

本 社 〒314-0031 茨城県鹿嶋市宮中1丁目8番6号
TEL 0299-83-1866 FAX 0299-83-1861
東京支店 〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町9-3
日本橋相互ビル501
TEL 03-3243-6980 FAX 03-3243-6981



株式会社 雲井工務店

専務取締役 雲井憲正

本社／〒311-1111 茨城県水戸市小泉町267-1 TEL.029-269-4497 FAX.029-269-4492
kumoi-h3@mail.plala.or.jp

大洗営業所／〒311-1301 茨城県大洗町磯浜町3457-1 TEL.029-267-1355
笠間営業所／〒309-1631 茨城県笠間市箱田2804-1 TEL.0296-72-5661
ひたちなか営業所／〒311-1223 茨城県ひたちなか市栄町1-1-18 TEL.029-262-5822

特定建設業 **KUMOI**
<http://www.kumoikoumen.com>



MATSUMOTO-SOUKEN

株式会社 松本總建 代表取締役会長 松本一幸

—特定建設業— 茨城県知事許可(特-24)第21680号

関東中央支店 〒311-0106 茨城県那珂市杉410-2 TEL 029-295-7715(代) FAX 029-295-6548

本社 〒311-4152 茨城県水戸市河和田2-9-5 第二機材センター 〒311-0133 茨城県那珂市鴻巣白旗1195-1
第一機材センター 〒319-1301 茨城県日立市十王町伊師3891-6 第三機材センター 〒311-0106 茨城県那珂市杉407-1
〒311-4203 茨城県水戸市上国井町字南台3669-1

《営業内容》 ■枠組足場工事 ■くさび式先行手摺足場 ■鉄骨建方工事 ■建築土工事 ■土木工事 ■外構工事 ■足場提案企画

プラスチック製 雨水貯留浸透製品

スーパーフレーム SUPERFLAME

広く浅い所の設置に
最適。フレーム構造の
ため、槽内部でのス
ムーズな水の流入・流
出が可能です。



〒125-0041 東京都葛飾区東金町1-38-2 営業部 竹野谷 Tel:03-3600-1522 Fax:03-3600-2090 <http://www.ebata.co.jp/>

ごみ取りネット

雨水調整施設へのゴミ
の進入を防ぎ流入施
設への閉塞を抑制しま
す。コンクリート躯体に
アンカーを打ち込み、
ごみ取りネットを取り
付けるだけの簡単施
工です。



創業330年の実績 安全・安心・快適な住空間をご提案



株式会社 奈良屋

代表取締役社長 横山昌弘
取締役会長 市橋静枝

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町600-15
TEL.029-241-5141 FAX.029-305-8733 <http://www.naraya-corp.co.jp>

建築◆企画・設計・監理



株式会社 中建築設計事務所

水戸市笠原町1188-6
TEL 029-243-9333 FAX 029-243-9332
E-mail: nakaarc@maple.ocn.ne.jp



遊戸室



ほふく室



桜ノ牧保育園



株式会社 パル総合設計

〒310-0852 水戸市笠原町1050-1アクアビル2F TEL. 029-243-0540(代) FAX. 029-243-0548
E-mail: arc@pal-sogo.co.jp

県南地区特別支援学校・茨城県プロポーザル最優秀案(早川・宮本建築JV)



設計・監理

株式会社 早川建築事務所

〒310-0836 茨城県水戸市元吉田町1305-1
TEL 029-248-5112 FAX 029-248-5117
URL <http://www.hayakawa-ado.jp>
取締役会長 早川 富二雄 代表取締役 早川 敏史



企画・デザイン・印刷・ホームページ制作

茨城県央・県南 月刊
エリアの
生活情報誌
ぶらざ

茨城の県北を
元気にする
マガジン
DAISUKI
だいすき常陸

クロスメディア展開の創造とサポート
株式会社 メディアクロス水戸
〒310-0841 茨城県水戸市酒門町4269-6

TEL.029-247-4171 FAX.029-247-4696
HP <http://www.mx310.jp>



特定建設業〔保育園・住宅・店舗等〕



南高野保育園



グラウンドホーム 水戸展示場

株式会社 鶴亀

〒319-0126 茨城県小美玉市大谷790-29 Tel 0299(47)0881 Fax 0299(47)0897
[HP] <http://www.groundhome.com> [e-mail] ghome@groundhome.com

株式会社 増山栄建築設計事務所 代表取締役 増山 栄

本 社 〒300-0874 茨城県土浦市荒川沖西1-1-4

本社設計室 〒300-0871 茨城県土浦市荒川沖東3-1-34
TEL 029-843-6011 FAX 029-843-3122

つくば支店 〒305-0047 茨城県つくば市千現1-12-2-305号室
TEL 029-893-6012 FAX 029-852-3810
URL:<http://www.masuyama-arc.com>
E-mail:sekkei@masuyama-arc.com



土浦市立都和小学校(第30回茨城建築文化賞 知事賞)



図書室



笠間市地域交流センターともべ「Tomoa」

 MITSUO YOKOSUKA
ARCHITECTURAL CO., LTD.

(株)横須賀満夫建築設計事務所

本 社 / 茨城県水戸市南町2-1-18 アーキビル 〒310-0021
TEL.029(225)4353 FAX.029(225)1794

東京支店 / 東京都杉並区梅里1-3-12 テラスキヨウ101号室 〒166-0011
TEL-FAX.03(5378)6617

つくば営業所 / つくば市高見原3-1-23 アメニティー高見原202 〒300-1252

TEL.029(896)3978 FAX.029(896)3968

URL <http://www.design-yokosuka.co.jp> E-mail yokosuka-mitsuo@bea.hi-ho.ne.jp



埼玉県久喜市立久喜南中学校



有限会社 長塚建築設計事務所

■ 茨城県古河市原町4-2

■ TEL 0280-22-2323



MASAHIRO KONO ARCHITECT&ASSOCIATES

株式会社 河野正博建築設計事務所

代表取締役 河 野 正 博

〒305-0817

つくば市研究学園5丁目6-6 D12-510

TEL : 029-861-8847 FAX : 029-861-8848

E-mail : info@kono-arc.com URL : <http://kono-arc.com/>

会報 茨城
iBARRAKi

一般社団法人 茨城県建築士事務所協会／2017年7月 第65号



一般社団法人 茨城県建築士事務所協会
<http://www.i-jk.org>